

教材教員名	フィット椅子	分類	その他
		授業名	日常生活
ねらい	・ 挟まる刺激を感じながら落ち着いて座って過ごす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ 休み時間や授業の待ち時間に使用。

<材料>

- ・ ベニア、木材、プラダンボール

<工夫点>

- ・ 椅子の転倒防止にベニアに固定した。

<効果>

- ・ 落ち着かず走り回っていた児童が、この椅子があることで落ち着いて過ごすことができた。

教材教員名	ペットボトル (水時計)	分類	その他
		授業名	日常生活 (小学部)
ねらい	・心の安定 (過ごしグッズの一種)		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・噛む、振る、ひっくり返す (ひっくり返して水の滴りを楽しむ)

<材料>

- ・硬めのペットボトル、ジョイント (塩ビ管+ビニールテープ)

<工夫点>

- ・ジョイントがないとこぼれてしまいます。

<効果>

- ・何も用意していないときと比べると、イライラ (の結果他害する) が緩和されている印象があります。

教材教員名	キャスターカー	分類	その他
		授業名	
ねらい	・遊びながら足首を動かす運動を行う。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・キャスターカーに乗って、足で蹴り移動して遊ぶ。

<材料>

- ・キャスター ・ベニア ・ガムテープ ・牛乳パック ・持ち手

<工夫点>

- ・児童の身体の大きさに合わせ、蹴りだしやすい大きさに作成した。
- ・回転式のキャスターを使うことで、足で自由に方向を変えられるようにした。

<効果>

- ・好んで乗ることで、足首を動かす機会を作ることができた。

教材教員名	ブローイング ホース	分類	その他
		授業名	自立活動
ねらい	・ブローイングの練習		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



＜使用方法＞

- ・ボールを中に入れ、吹く。
- ・強く吹く練習・・・ボールを飛ばさせる。
- ・呼気の調節の練習・・・ボールを落とさないように、決められた位置までボールを移動させる。

＜材料＞

- ・園芸用ホース ・発泡スチロール球

＜工夫点＞

- ・ボールが見えるように透明のホースを使用した。

＜効果＞

教材教員名	ピストル型スプーン	分類	その他
		授業名	給食指導
ねらい	・3 指持ちをやりやすくし、操作が微細にできるようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・食事の時間、または個別課題等の時間でのすくう練習に使用する。

<材料>

- ・スプーン ・自由樹脂

<工夫点>

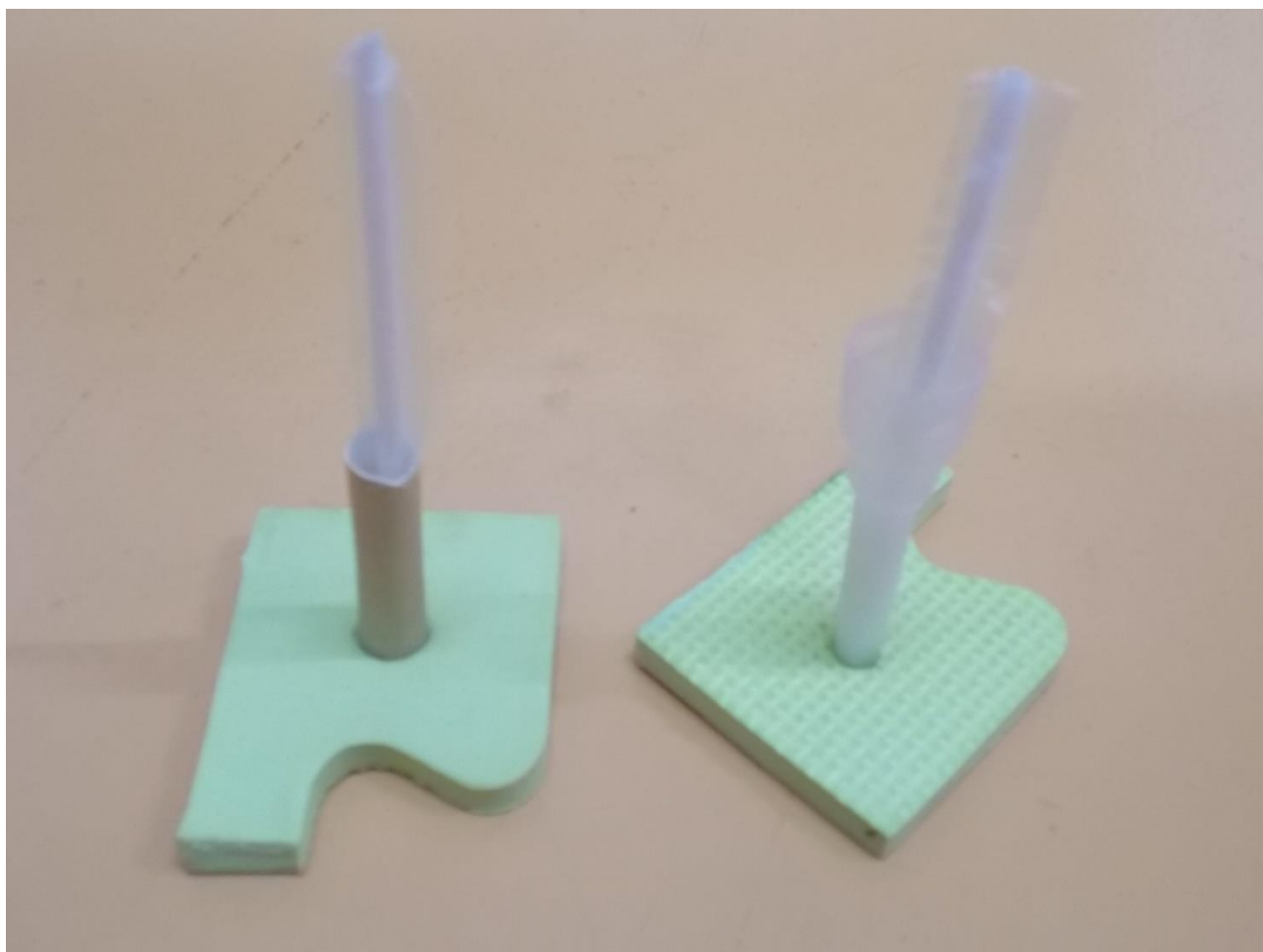
- ・児童の手の大きさや、できる動きに合わせて持ち手を作成した。

<効果>

- ・3 指持ちが安定しすくい操作が細やかになり、こぼしが少なくなった。

教材教具名	ストローの袋開け	分類	その他
		授業名	給食
ねらい	・給食のストローの袋を自分で開けられるようにする		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・筒の穴にストローを押し込む。
- ・押し込むことでストローのビニールに穴が開き、取り出すことができる。

<材料>

- ・フロアマット、筒

<工夫点>

- ・ストローのメーカーによって袋の開けやすさが異なり、開けにくいタイプのものに対応するため作成した。

<効果>

教材教員名	ざらざらの下敷	分類	その他
		授業名	
ねらい	・筆圧を高めて、じっくり運筆をする		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・紙やノートの下に下敷を敷く

<材料>

- ・下敷 or ファイル ・紙やすり

<工夫点>

- ・カラフルな紙やすりを使用することで可愛くした。

<効果>

- ・筆圧の弱い生徒・児童が使用。紙やすりの抵抗を感じることで、鉛筆をゆっくり動かすことができた。

教材教員名	移動式パーテーション	分類	その他
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・視覚的環境を整えることで、課題に集中させる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・国数の個別課題の際に気が散りやすい方向にパーテーションを置く。授業のはじめと終わりに出し入れする。

<材料>

- ・段ボール ・プラ板 ・ガムテープ

<工夫点>

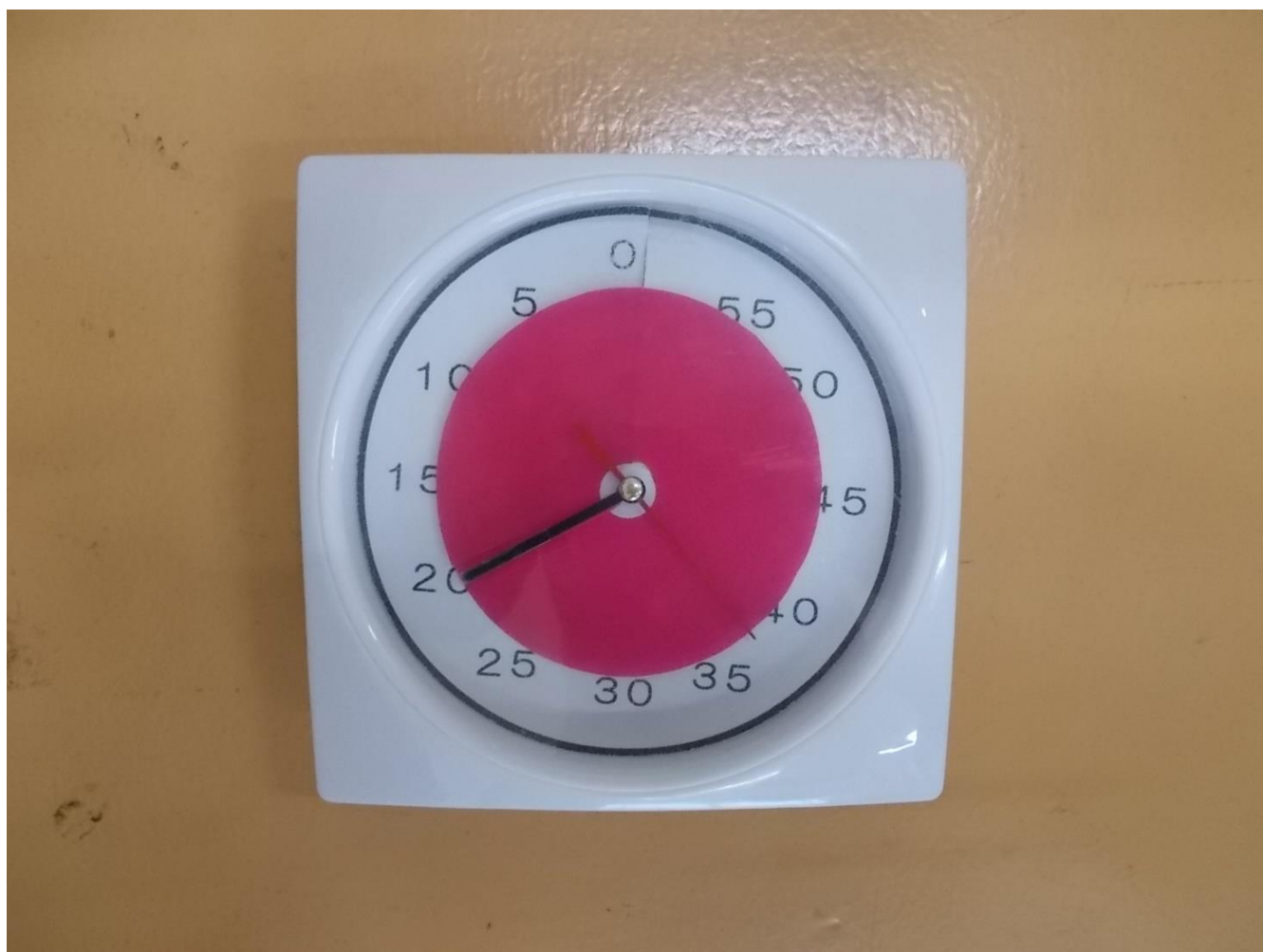
- ・移動しやすく同じサイズで作ったことで収納が簡単にした。
- ・上側を透明にして光を少し入れて、閉塞感を減らすことを狙った。

<効果>

- ・視覚的に過敏な生徒が、周囲に気を取られず課題に向かう姿勢が作れている。

教材教員名	手作りタイムタイマー	分類	その他
		授業名	授業全般
ねらい	・時間を視覚的に提示する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・活動の切り替えの時間を設定し、分針を合わせる。

<材料>

- ・クリアファイル、時計、円カッター（あると便利）

<工夫点>

- ・安価で手に入る 100 円均一の時計とクリアファイルを使用して作成したところ。

<効果>

- ・視覚的に時間を提示したことで、活動への見通しが持て、気持ちの切り替えがしやすくなった。

教材教員名	あと何分？	分類	その他
		授業名	日常生活
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・体育や生活実際に動いている時計を見ながら、残りの時間を考えることで時間感覚と時計の関係を体感させる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ マーカーで線を引き、長針がそこに到着するまで何分かを考えさせる。

<材料>

- ・ 時計、ホワイトボードマーカー

<工夫点>

- ・ 実際に時計を動かしておく。

<効果>

- ・ 答えた後、その時間になったら「〇〇分になったね」と確認しあうことで、時間の感覚がおおよそであるが身についてきた。

教材教員名	自分の声を聴こう	分類	その他
		授業名	
ねらい	・自分の声を耳元で聴くことで、自分の声や発音に注目する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・耳と口に当ててしゃべる

<材料>

- ・塩ビパイプ、ビニールテープ

<工夫点>

- ・大きめにすることで耳に当てやすくした。

<効果>

- ・聞きなれない自分の声を聴く驚きで、どんなふうに話そうかという意識をはぐくむことができる。